

平成23年6月定例会会議録（第2号）

平成23年6月10日 金曜日 午前10時00分開議

蒲 生 光 男 議 長 安 部 隆 副議長

出席議員（16名）

1番	赤 間 泰 広	議員	2番	梅 津 善 之	議員
3番	江 口 忠 博	議員	4番	今 泉 春 江	議員
5番	小 関 秀 一	議員	6番	竹 田 博 一	議員
7番	我 妻 昇	議員	8番	大 道 寺 信	議員
9番	町 田 義 昭	議員	10番	佐々木 謙 二	議員
11番	安 部 隆	議員	12番	渋 谷 佐 輔	議員
13番	高 橋 孝 夫	議員	14番	大 沼 久	議員
15番	小 関 勝 助	議員	16番	蒲 生 光 男	議員

欠席議員（0名）

+

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
飯 澤 常 雄	総務課長兼選挙管	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	理委員会事務局長	松 木 英 司	税 務 課 長
宇津木 正 紀	企 画 調 整 課 長	松 木 幸 嗣	健 康 課 長
小 泉 良 一	市 民 課 長	種 村 正 一	子 育 て 支 援 課 長
遠 藤 正 明	福 祉 生 活 あ ん し ん 課 長	飯 田 武 志	監 査 委 員
加 藤 弘 二	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	大 滝 昌 利	教 育 長
遠 藤 誠 一	教 育 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
那 須 宗 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	齋 藤 理 喜 夫	商 工 振 興 課 長
平 正 行	農 林 課 長	松 木 茂	建 設 課 長
浅 野 敏 明	観 光 振 興 課 長	鈴 木 要 一 郎	上 下 水 道 課 長
鈴 木 一 則	ま ち ・ 住 ま い 整 備 課 長	中 井 晃	文 化 生 涯 学 習 課 長
佐 藤 孝 博	管 理 課 長	齋 藤 環 樹	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
青 木 邦 彦	生 涯 ス ポー ツ 課 長	渡 部 政 明	農 業 委 員 会 事 務 局 長
	監 査 委 員 事 務 局 長		

+

鈴木 智 消防主幹

事務局職員出席者

松本 弘 議会事務局長
鈴木 和夫 議事調査係長
寒河江 新一 補佐
高橋 由美 主任

議事日程（第2号）

平成23年6月10日 金曜日 午前10時00分開議

日程第 1 市政一般に関する質問

- 5番 小 関 秀 一 議員
- 4番 今 泉 春 江 議員
- 3番 江 口 忠 博 議員
- 8番 大道寺 信 議員
- 1番 赤 間 泰 広 議員

本日の会議に付した事件

十 議事日程（第2号）に同じ

+

+

開 議

○蒲生光男議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に遅刻の議員は、14番、大沼 久議員でございます。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○蒲生光男議長 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、順次ご指名いたします。

小関秀一議員の質問

○蒲生光男議長 順位1番、議席番号5番、小関秀一議員。

(5番小関秀一議員登壇)

○5番 小関秀一議員 おはようございます。

非常に6月のさわやかな天気の中、初めての選挙で当選をさせていただきました、しかもトップバッターで6月の一般質問をさせていただくこと、非常に光栄に思いますとともに、緊張しております。何分初めてでございますので、

不手際また質問の内容等について素人の部分ありますので、ご容赦、ご勘弁をいただきながら質問を始めさせていただきますので、よろしくお願いを申し上げます。

まず、今般の選挙に当たって、私自身非常に悩んだ部分については、特に3月11日の震災、その後の原発の事故等の暮らしの不安の部分で、私、56歳になったわけでございますけれども、今まで百姓一本で生きてきて、さまざまないわゆる次の世代に何か仕事をできないかというふうなことで、3月末、決意をさせていただいて、この場に至ったという経過であります。

趣味、百姓というふうに言いたいわけですが、食いぶちについては農業で一生懸命働いてきたつもりであります、なかなか今の時代でありますので、農業の経営についても難しいと。ただ、幸いなことに後継者、息子夫婦が支えてくれますので、こういう仕事で身近な問題から国レベルのいろいろな暮らしの課題について取り組んで、ご提案もできればしたいもんだというふうに、今後も4年間精いっぱい頑張りますので、よろしくお願いを申し上げます。

基本的にはきょうの質問の中でもすべて通じるなどというふうに私思っているところは、やっぱりこれは今だからということでは決してなくて、暮らし向きについて無理、むだのないことが肝要かなというふうに、私は常にこれからも心がけて、いろんな課題なりテーマなりに取り組んでいきたいというふうに思っております。

つまり、やっぱり身の丈に合った暮らしや行政や産業のあり方等が必要なんだというふうに思いながら、質問に早速入ります。

質問については、非常に簡単に質問させていただいて、質疑の中で少しやりとりをさせていただきますので、ご勘弁をいただきたいと思えます。

まず最初に、大きく3つ項目を上げさせていただいたわけですが、あいさつにも述べ

+